



就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	ごとう しゅうと	性別	生年月日・年齢
氏名	後藤 秀斗	男	1994年2月26日
競技団体・種目	陸上競技・競歩		24 歳
出身地	京都府亀岡市		
現住所	千葉県印西市		
所属先	千葉陸協		
練習場所	順天堂大学さくらキャンパス		

【選手プロフィール】		
年	月	学歴・職歴
2012	3	私立洛南高等学校 普通科 卒業
2012	4	順天堂大学 スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 入学
2016	3	順天堂大学 スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 卒業
2016	4	順天堂大学大学院 スポーツ科学研究科 入学
2018	3	順天堂大学大学院 スポーツ科学研究科 修了

■免許・資格

普通自動車第一種運転免許、中学校教諭専修免許状(保健体育)、高等学校教諭専修免許状(保健体育)

■国際大会の主な戦歴

年	月	大会名	戦歴
2018	6	IAAF競歩グランプリ・ラコルーニャ大会	32位 1:27:51(20km競歩)

■国内大会の主な戦歴

年	月	大会名	戦歴
2013	10	第52回 全日本50km競歩 高島大会	2位 4:16:33(U20日本記録)
2014	10	第53回 全日本50km競歩 高島大会	4位 4:06:53
2015	10	第54回 全日本50km競歩 高島大会	5位 3:59:23
2016	10	第55回 全日本50km競歩 高島大会	6位 4:05:50
2017	4	第101回 日本選手権 50km競歩	6位 4:07:56
2017	10	第56回 全日本50km競歩 高島大会	3位 4:01:32
2018	4	第102回 日本選手権 50km競歩	3位 3:57:57

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私は50km競歩を専門種目としており、大学院では競歩のパフォーマンス向上を突き詰めるために、「競歩選手のトレーニング」をテーマに研究を行いました。研究を行うにつれて、トレーニングを客観的に評価する重要性に気づき、心拍数や血中乳酸濃度といった客観的指標を重要視してトレーニングに取り組むようになりました。それは適正なトレーニング効果を得られると同時に、オーバートレーニングを防ぐ意味も持ち、以前まで断続的であったトレーニングを継続することが可能となりました。その取り組みは徐々に成果として表れ、本年の日本選手権では2年振りに自己記録を更新し、3位入賞を果たしました。練習のレベルも上がり、今は競歩日本代表レベルのナショナルチームに加わってトレーニング行っており、目標達成に向けて自信を持ちつつあります。今後は持久力の強化に加えて、課題である筋力トレーニングにも計画的に取り組んでいく予定です。筋力強化により、これまで不安定であった歩型技術と質の向上を図ることで、さらなる記録の短縮は可能であると考えております。

また、大学院での研究過程は、自身のトレーニングを客観的に分析、評価するための土台となり、本年の競技成績だけでなく、課題発見力と解決力を培うことができたと考えています。国際大会での好成績により日本の競歩の注目度が高まる今、まずは国内の主要大会で活躍し、「社内の士気向上」に貢献するだけでなく、この能力とこれまで競歩を通して得た経験を活かし、社員の皆さん一人ひとりの身体の悩みや問題点を見て、「歩」の基本やストレッチ、体操を行う機会を提供し、社内の健康増進にも貢献していきたいと考えております。

私は2020年東京五輪の出場を目標としております。50km競歩は2020年東京五輪で実施される陸上競技最長の競技種目です。50kmもの距離の中で戦い続ける姿や諦めない姿勢、ゴールしたときに与えられる感動は唯一のものであり、応援して下さる方々にも、必ず感動や活力を感じてもらえらると思います。これまでの競技と大学院での研究により養った能力を生かし、2020年と2020年以降も企業に貢献できるように努力していきます。

【支援先企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	どのような職種にも熱意を持って取り組みます。
②勤務地	東京都内、または千葉県内を希望いたします。
③勤務日数	週3~5日(試合・合宿等につきましてはご配慮いただくと幸いです。)